

13 一般社団法人日本私立大学連盟

「東京都女性活躍推進計画」記載の内容		30年度取組実績
領域 I 働く場における女性の活躍		
① 均等な雇用機会と女性の職域拡大・登用促進		
ア ポジティブ・アクションの推進		
	私立大学における組織運営・経営面での活性化、構成員の意識改革、制度改革の格段の進展を企図して、シンポジウム等の開催を通じ、男女共同参画を推進するための指針(規則・規程)等の制定、組織や委員会等の設置の必要性の啓発を行います。	
2	シンポジウム等の開催を通じ、加盟大学における積極的改善措置(ポジティブ・アクション)に係る事例報告を通じた情報の共有を行います。	○当法人の機関誌である『大学時報(380号[平成30年5月号])』において大学における「女性のキャリア形成」に関わるプログラムの開設や専門の部署・部門を設置するなどの取組、事例や課題を紹介し、大学における「女性のキャリア形成」の意義と今後の展望・可能性などについて再考する機会とすべく、1)「女性のキャリア形成」の意義・目的、2)「女性のキャリア形成」に関する取り組み・課題、3)今後の「女性のキャリア形成」のあり方・展望を話題の柱とする座談会を開催し、その内容を掲載した。
⑦ 普及啓発活動の充実		
ア 情報の提供		
18	☆当連盟の会員法人において、多くの大学がダイバーシティの宣言や、LGBTの相談室の設置に取り組み始めていることから、ダイバーシティ&インクルージョン教育はどう展開すべきか、その試みを情報提供し、議論する機会を作ります。	○当法人の機関誌である『大学時報(386号[平成31年5月号])』において、大学においてもLGBT等に係るガイドラインの制定や組織の設置、教職員への研修、施設面での対応等、様々な取り組みが行われるようになった一方で、学生への理解促進の取り組みも含め、どのような方法でどこまで対応すべきか模索している大学も依然として多いことから、LGBTに関する取組を行っている大学や関係機関から、その対応における方針や具体的内容、効果や課題、展望などを紹介し、今後の大学におけるLGBTに関する取り組みと理解醸成に資する機会とすべく、「LGBTに関する理解醸成と大学の取り組み」と題した特集を組み、原稿を6本掲載することを決定した。 ○加盟大学の教職員が参加する学生支援研究会議(47大学、69名参加)において、「学生生活の多様化と学生支援」と題するテーマのもと、LGBTをはじめとする学生の多様化に対応しつつ、個別的、かつ、総合的に学生生活を支援するためには、ネットでの学生相談やピアサポートなど、新たな取り組みが必要となっていることから、学生の質的な多様化に伴う学生相談のあり方について、大学における体制整備の視点からの意見交換を行った。

19	男女共同参画推進のための環境整備を図るための諸課題について、検討成果を加盟大学に還元するとともに、加盟大学における先進的な取組に係る情報の共有を図るため、シンポジウムを開催します。	<p>○当法人の機関誌である『大学時報(380号[平成30年5月号])』において、大学における「女性のキャリア形成」に関わるプログラムの開設や専門の部署・部門を設置するなどの取り組み、事例や課題を紹介し、大学における「女性のキャリア形成」の意義と今後の展望・可能性などについて再考する機会とすべく、1)「女性のキャリア形成」の意義・目的、2)「女性のキャリア形成」に関する取り組み・課題、3)今後の「女性のキャリア形成」のあり方・展望を話題の柱とする座談会を開催し、その内容を掲載した。</p> <p>○「長時間労働の是正」「雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保」を主な柱とする働き方改革関連法の平成31年度以降の施行を控え、会員法人における自主性・自律性に基づいた健全な経営体制の構築を目指し、関連法改正内容の理解の深化、会員法人が取り組むべき課題の明確化と共有や取組方策の検討に資するべく、働き方改革推進プロジェクトを年度内に新たに設置し、会員法人における実態把握のためのアンケートを実施するとともに、会員法人の人事・労務担当役員や担当者等を対象に協議会を開催した。</p>
領域Ⅱ 女性も男性もいきいきと豊かに暮らせる東京の実現		
1 生活と仕事の調和(ライフ・ワーク・バランス)の実現		
④介護に対する支援		
イ 介護と仕事の両立が可能な環境づくりの促進		
29	シンポジウム等の開催を通じ、加盟大学における介護支援制度の必要性の啓発を行います。	
3 男女平等参画を推進する社会づくり		
③教育・学習の充実		
ア 学校での男女平等		
37	シンポジウムの開催等を通じ、男女共同参画社会の実現を担う次世代育成に係る事例報告を通じた情報の共有を行います。	<p>○当法人の機関誌である『大学時報(380号[平成30年5月号])』において大学における「女性のキャリア形成」に関わるプログラムの開設や専門の部署・部門を設置するなどの取組、事例や課題を紹介し、大学における「女性のキャリア形成」の意義と今後の展望・可能性などについて再考する機会とすべく、1)「女性のキャリア形成」の意義・目的、2)「女性のキャリア形成」に関する取り組み・課題、3)今後の「女性のキャリア形成」のあり方・展望を話題の柱とする座談会を開催し、その内容を掲載した。</p>
39	当連盟における「財務・人事担当理事者会議」において、多様な働き方や女性研究者のサポート等をテーマに協議します。様々な事例をもとに、加盟校に情報提供し、議論の機会をつくります。特に科学分野で学ぶ女性が少ないことから、その先進的な取組を紹介します。	
推進体制		
ア 都民・事業者における体制		
59	男女共同参画推進のための環境整備を図るため、その実現に向けた諸課題について検討します。	